

教育委員会だより

いそぎく

発行日 平成25年11月1日
編集・発行 葉山町教育委員会教育総務課
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内2050-9
TEL. 046(876)1111
FAX. 046(876)1861

第244号

平成二十五年年度

葉山町青少年創意くふう展覧会

九月十三日(金)から十五日(日)の三日間、町保育園・教育総合センター二階の学びの広場、研修室、会議室において「葉山町青少年創意くふう展覧会」が開催されました。

同展は、毎年夏休み明けのこの時期、創意くふうと工作部門に分けて作品展示が行われます。町立小中学校の児童・生徒が、夏季休業中に自主的に創作し応募します。

本年度は、創意くふう部門二十七点、工作部門二百九点の応募がありました。開催三日間は、台風の影響で風雨が強い日もありましたが、六百三十七人の来場者がありました。

創意くふう部門では九作品が入賞し、工作部門では優秀賞十五点が入賞しました。

【創意くふう部門】

町長賞

「速乾ピンチ」

南郷中学校 三年 倉本 愛美

陸上部に所属していますが、大会の時にはユニフォームが二日続けて必要になることがあります。そこで、効率よく短時間で乾かす方法はないかと考え、この速乾ピンチを作りました。

ソーラーパネルを利用した扇風機を用いて速く乾かせるようになっていました。このソーラーパネルは、レバーで動かすことができるので太陽の位置が変わっても、光を集めることができます。

また、目隠しのためにつけたカーテンは、熱を吸収できるよう黒いものにした。洗濯物を干すときは、ゴムとボタンで簡単に留めることができ邪魔になりにません。下には、風でまくれるのを防ぐためのマジックテープを付けました。

(審査員の講評) 洗濯物を少しでも早く乾燥させるために、ソーラーパネルによる発電で回転する扇風機を備えた洗濯物干しです。ソーラーパネルは、任意の角度で固定できるように設置されていて、ピンチを設置する環境に合わせて太陽光を有効に受け止めることができるように工夫されています。



議会議長賞

「2WAYスポンジ」

葉山中学校 三年 高橋 明里



夏休みに食器を洗った時、スポンジが固くて細かい部分が洗いづらかったので、一つのスポンジできれいに洗うことができるようにできないかと考えました。ちよっとした事でしたが、切れ目をいれることで、とても使いやすいスポンジになり、母にも喜ばれました。

(審査員の講評) 大型で硬めのスポンジであっても、手に収まりやすく、細かい箇所もよく洗えるスポンジの形状について研究された作品です。スポンジの長い方向に切れ目を設けることで、切れ目に沿ってスポンジが折れ曲がって手に収まりやすく、洗う目的に合わせてスポンジの形状を変化させることができるようになっていきます。適した切れ目の長さを三分の一と設定するなど、よく研究された作品となっています。

優良賞

「工」使い捨てまな板

葉山中学校 三年 加藤 健吾



リサイクルするために切り開いた牛乳パックがたくさんあり、何に使えるかと考えました。肉や魚を切つ

た後は、そのまま捨てるだけなので節水になり環境にもやさしいと思います。屋外で、B B Qをする時にも役立ちます。台所でいつでも使えるように二十枚まとめてリボンでとめました。

〔審査員の講評〕まな板を再利用せずに使い捨てるという着眼点から、多数のシート状のまな板をメモ帳のように積み重ねて配置し、上から順番に破り捨てるという解決方法に至っています。

優良賞

「新聞かたづけ簡単BOX」

葉山中学校 三年 濱野 眞帆



新聞をひもで束ねる時、簡単にきれいにできないかと思ったのがきっかけです。ひもが取れないように引っ掛ける切れ目を作り、重い新聞紙を上から出さなくて

もいのように前にスライドする蓋を取り付けました。この箱を使って、少しでも家事が楽になってくれるといいと思いました。

〔審査員の講評〕折りたたんだ新聞紙を積み上げて収納し、紐がけした新聞紙の束も取り出しやすい新聞収納ボックスです。紐の端を引っ掛けておく溝の配置や、紐が新聞紙に引っ張られて外れないように固定する板などに工夫があります。

【工作部門】

今年も、個性あふれる多数の作品の応募がありました。優秀賞は次のとおりです。

学年	学校	氏名	作品名
1年	一色小	菅原 小七海	あさがおのおしばな絵
2年	葉山小	矢島 匠	ツリーランプ
2年	長柄小	藤原 大竜	とうもろこしのかわで作ったかかし
2年	一色小	福本 林太郎	スイミー
3年	葉山小	吉田 康人	カラコロロボット
3年	上山口小	竹内 一翔	地軸自在 立体3D地球儀
4年	葉山小	加茂 響	葉山おはやし保存会
4年	長柄小	木村 行	沖縄ちゅら海水族館のとびだす絵
4年	長柄小	中島 波南	リサイクルコルクハウス
4年	一色小	熊崎 華凜	スラッシュキルトのバック
4年	一色小	加藤 夢就	鯛
4年	一色小	石田 優波	ペンギンの親子
5年	一色小	北村 洸	海のカレンダー
6年	葉山小	下村 紗英	ウエディングケーキ
1年	葉山中	柴田 万凜	廃材を使ったライトカバー

コラム

家庭と学校をつなぐ(その1)

「学習指導要領ってなに?」

「教科書が厚くなります」と、いうような言葉を昨年、一昨年あたり、テレビなどで聞いた方も多いかと思いますが。

全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省では、学校教育法等に基づき、各学校でカリキュラムを編成する際の基準を定めており、これを「学習指導要領」といいます。

小学校では平成二十三年、中学校では平成二十四年度に新しい学習指導要領が完全実施されました。

これにより、発展・応用的な内容も教科書に含まれるようになったため、前述の「教科書が厚くなった」と言われています。

しかし、重要なのは量ではなく、質であることは言うまでもありません。重視されている項目のキーワードとしては、「生きる力」「思考力・判断力・表現力」「言語活動」などがありますが、なじみのない言葉かもしれません。

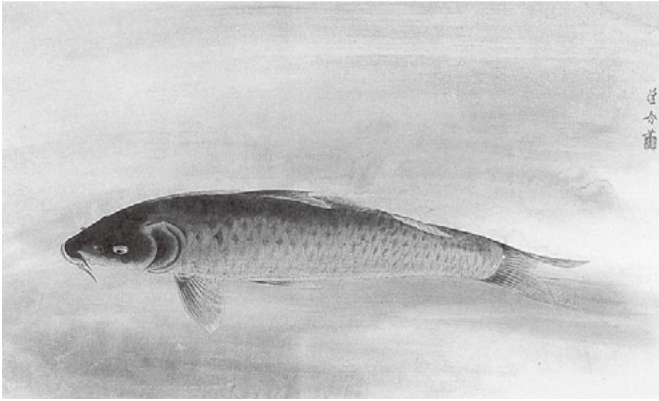
次回は、これらについても掲載していきます。

山口蓬春 生誕120周年を記念して

しおさい博物館と町立図書館で、山口蓬春（ほうしゅん）生誕120周年を記念して、『葉山町所蔵美術展 葉山にゆかりの画家たちⅣ』山口蓬春生誕120周年記念』を開催しています。

蓬春は明治26年北海道松前町に生まれ、葉山には昭和23年に転居してきました。当時、多くの文化人が住んでいた、この葉山の地において、様々な人々と豊かな交流をする中で素晴らしい作品を数多く残しました。

しおさい博物館では、「蓬春作品と蓬春が手がけた装丁本」と題して、町が所蔵している蓬春作の絵画6点と蓬



「鯉」山口蓬春 作

春が装丁を手がけた本を展示しています。

蓬春は絵画制作以外に、装丁や挿絵などの活動も行っており、優れたデザインのものも多く残しました。また、その分野は児童文学から小説や随筆にとどまらず、歌集など多岐にわたっています。蓬春は中でも、室生犀星（むろうさいせい）作品の装丁を20点手がけています。犀星は『天馬の脚』のなかで「著者こそは凡ゆる装幀家の中の装幀を司るべきである。」と述べるほど、装丁にこだわりを持った作家でした。そんな犀星にとって、蓬春は最も信頼のおける装丁家だったと思われる。室生犀星作品5点を始め11点の本を展示しています。

図書館では、「蓬春と交流があった画家たち」と題し、加藤栄三、中村岳陵（がくりょう）の絵画6点を展示しています。

加藤栄三は、昭和30年葉山町に転居し、昭和47年に死去するまで葉山に暮らし続けた画家で、蓬春とは、ともに酒を酌み交わすこともあり、公私にわたり親しく交流していました。また、弟の画家 東一（とういち）が蓬春に師事したのも栄三のアドバイスがあったからだといわれます。

中村岳陵は、蓬春らとともに、昭和5年に美術研究団体 六潮会（りくち



山口蓬春 肖像

ようかい）を結成。六潮会は、日本画家、洋画家、美術評論家8人からなる団体で、昭和15年まで展覧会、研究会等を開き、流派などを超えた親しい交流をしていく中で、作風や技法の研究をしていました。

芸術の秋、ぜひ足をお運びください。

図書館

期間：平成25年10月29日（火）

～11月24日（日）

午前9時から午後6時

休館日：11月5日、6日、11日、18日

観覧料：無料

しおさい公園・博物館

期間：平成25年10月29日（火）

～11月24日（日）

午前8時30分から午後5時

（しおさい公園の入園は

午後4時30分まで）

休館日：11月5日、11日、18日

観覧料：無料（ただし、しおさい公

園入園料が必要です。）高

校生以上300円（250

円）小中学生150円（1

00円）（ ）は団体料金

11/3 日 しおさい公園無料開放日

琴のしらべ

時間 12時～12時20分

14時～14時30分

場所 一景庵前庭園（雨天の場

合は一景庵）

演奏 馬場信子氏、琴アカデミ

ー会員のみなさん

ハンドベル演奏

時間 11時40分～12時

13時～13時20分

場所 しおさい博物館車寄せ前

（雨天の場合は中止）

演奏 クロシエット・ドール・

HAYAMAのみなさん

町所蔵美術展 ギャラリートーク

山口蓬春記念館学芸員による展

示解説です。

時間 12時30分～13時

14時30分～15時

場所 しおさい博物館 1階

くつろぎゾーン

菊の展示

葉山菊花会による菊の展示です。

場所 しおさい博物館 1階

くつろぎゾーン